

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
令和4年度第5回 理事会 議事録

日時：令和4年6月20日（月）14:00-16:00

場所：山梨大学大学院整形外科学講座／Zoom

【出席した理事】大鳥 精司、小田 剛紀、金村 徳相、川口 善治、高橋 寛、
竹下 克志、田中 信弘、筑田 博隆、土井田 稔、永島 英樹、
中村 雅也、西田 康太郎、根尾 昌志、橋爪 洋、波呂 浩孝

【出席した監事】小澤 浩司、播広谷 勝三

【議事の経過の要領及びその結果】

会議は web で行われた。

審議・決議事項

1. 前回議事録の確認

修正等ある場合は大鳥理事へ一報する。

2. 専門医制度委員会より：第15回脊椎脊髄外科専門医試験の結果

6月17日に開催された第15回脊椎脊髄外科専門医試験に関して、受験した40名全員の合格を承認した。

3. COI委員会：新しい任期にあたっての利益相反自己申告書提出者の決定

役員、委員会が新体制となったためCOI自己申告書の提出が必要となる。利益相反に関する指針の細則に基づき、全てのワーキンググループにCOI自己申告書を提出してもらった案が異議なく承認された。自己申告書の提出期限は7月末を予定している。なお、細則にはプロジェクト委員会の記載が無く、今後細則の改訂が必要となる。

小田理事より、委員のCOIに関して「COIの開示を行うことが重要であり、COIがあることそのものが問題になるわけではない。ただし、委員長はCOIの無い人が望ましく、委員も半数以上はCOIが無い人とするのが良い」と説明があった。

高橋理事より、「学会としてのCOI申告」について今後どうするのかと質問があった。小田理事が、組織COIに関しては日整会に準じて対応したいため、日整会の動向を注視しながら引き続きCOI委員会内で検討していくと回答した。

4. メンバーシップ・コンプライアンス委員会：5月分会員審査

5月の入退会について全員を承認した。

また、日整会総会で本学会会員の除名が決議されたことを受けて、当学会でも具体的な対応方法を学会顧問弁護士と相談することとした。なお、中嶋秀明委員に対する委嘱の停止が決議された。

5. 新技術評価検証委員会：仙腸関節固定ガイドラインの件

仙腸関節固定ガイドライン作成にあたり、これまでに収集した意見を参考に加筆修正をしたことが報告された。また、ガイドライン作成ワーキンググループのCOI開示について、ワーキンググループでは「具体的な金額等は示さずCOIの有無は掲載する。また、学会にCOIを開示・報告しガイドライン作成に配慮した旨を掲載する」こととなった。掲載方法については他のガイドラインの例を参考に委員会にて雛形を作り、再度審議することとなった。

6. データベース委員会：統計解析専門家費用の件

2021年度の日本脊椎脊髄病学会症例登録レジストリー（JSSR-DB）について、新規の症例登録が終了し、今後データの解析を行う。統計解析ソフトSASでの集計・解析のために公衆衛生学統計学者のパート雇用が必要で、その人件費を承認した。

7. ヒストリアン委員会：アーカイブス用レンタルサーバーの契約について

前回承認されたデータベース委員会で使用しているレンタルサーバー上に、2段階でデータを管理するためのアーカイブス用レンタルサーバーに関して、XserverDriveを候補としている。提案されたプランを検討し、契約中のプランを変更できるのか確認した後、メール審議で認められれば契約することとなった。

8. 定款等検討委員会：「旅費に関する内規」「評議員選出規程」の改定、及び今後の内規改定について

旅費に関する内規

倫理委員等を非会員で委嘱されている医師兼法律家の委員に対し、頻回なメール等での相談が発生していること等を受け、その報酬について、学会の「旅費に関する内規」の修正案が提出された。事務局より、専門医試験等の試験監督には報酬を支払うことがあるため、今回第1条に追加した文言のみ削除することが提案され、改めて委員会で審議を行うこととなった。

評議員選出規程について

推薦評議員がすでに県外に転出して評議員枠が空席となっている県があることから規程の改定案が提示された。一同検討の上承認した。

当該県の推薦評議員については、同県の大学主任教授にすでに候補を推薦いただいており、新規定に基づき臨時評議員選考委員会をメール審議として開催することになった。

9. 論文公表の件

安全医療推進委員会にて「脊椎脊髄手術におけるwrong site spine surgery (WSSS)の発生頻度等に関するアンケート調査」の論文(案)(JSRへ投稿予定)が提出された。論文発表する目的は、エラーが起きていることを認識し、調査データから具体的な対策を提言していくことにあるが、一般の方の誤解を生む可能性も否定できず、内容を審議した。

多くの意見が出され、それに基づいて川口理事が改めて理事会に審議を依頼することになった

10. その他：脊髄モニタリング委員会の委員追加について

浜松医大 黒須健太氏の委員への追加が承認された。

2. 審議・報告事項

1. 国際委員会報告

伊東理事が欠席のため、波呂理事長より報告を行った。

- ・ Spine20へ可能な限り参加してほしい。
- ・ Asia Traveling Fellowshipについて、再開を検討している。
- ・ Spineweek 2023 5月3日15:30~16:30JSSR枠があるため、新しいプログラムを検討していく。
- ・ 2023年のSpine Across the Seaの開催内容等、JSSRの要望をNASS側に伝え、交渉を行っている。
- ・ 第52回JSSR学術集会時のアジアの招聘推薦者について、種市会長へ連絡する。

2. 専門医制度委員会報告

NSJと一緒に脊椎脊髄外科専門医検討委員会を立ち上げ、組織構成と名簿、規約を専門医機構に提出した。また、脊椎脊髄外科専門研修制度整備基準の見直しを行い、8月末までに提出予定である。

3. COI委員会報告

日本医学会のCOI管理ガイドラインが2022年3月に公開されたことに伴い、今後の課題として、当学会の利益相反に関する指針の細則を見直し予定である。また、学会組織

としてのCOI開示に関しても要検討だが、日整会と連携して進めていく。

4. 倫理委員会報告

「頸椎人工椎間板置換手術の安全性と有効性に関する研究」についての倫理審査依頼があったため、審査を開始した。

日本医学会連合から個人情報保護委員会への意見書が提出され、それを受けて個人情報保護委員会からのQ&Aが公表された。このQ&Aの内容が盛り込まれた倫理指針のガイダンスが公表され、これにより後ろ向きの観察研究については公衆衛生例外として取り扱うことが可能となり、これまで通りのオプトアウトの考え方で研究実施が認められるとの解釈となった。ただし、医療機関は学術研究機関として定義されず、医療と研究は一連のものという視点からの問題が残っている。

データベースを利用した研究では、学会とは別機関である大学等の所属医師にデータを提供することは倫理指針に抵触する恐れがあるため、提供が必要な場合は学会所属の委員への提供という形をとる必要がある。今後の研究では予め小田理事に相談するよう依頼がされた。

5. データベース委員会報告

脊髄モニタリング委員会から脊髄誘発電位測定の部分の改正案が出されたため、該当部分の登録項目について再検討し改めて理事会に審議を依頼する予定である。

2021年度のデータ解析環境（AWS）整備が完了し、現在解析中である。

2022年度の現在の登録数は14923件となっている。

6. 広報委員会報告

前回以降のホームページの更新状況を報告した。

また、日整会の患者向けパンフレットについては依頼された全項目について日整会事務局へ再提出し、今後日整会で審議予定である。

7. プロジェクト委員会報告

現在実施中の6つのプロジェクト研究の症例進捗を報告した。概ねすべてのプロジェクトは順調に症例登録が伸びている。

6つのうち2つのプロジェクトはほぼ完了したので、新規のプロジェクトを検討していきたい。メール審議など経て新プロジェクトの選定を進めていく予定である。

8. 診断評価等基準委員会報告

現在進行中のプロジェクトについて目標症例数等を報告した。

9. 英文誌編集委員会報告

来週第1回委員会を開催し、創設する予定の賞について詳細を検討する。

10. その他の委員会報告

・安全医療推進委員会：

寺井秀富評議員（大阪公立大学）がE理事会の決議で委員に追加された。

・JSR編集委員会：

新委員の茶藪昌明評議員（宇都宮病院）を交え委員会を開催したことを報告した。

11. その他：顧問税理士の件

前回理事会で紹介のあった秋田税理士と面談し、他学会の経験も十分あることが確認できたため、石原税理士退任後の学会顧問税理士を依頼することとした。

12. その他：

①基礎学会時の委員会の件

事務局から委員会の現地開催希望について確認があった。予定があれば次回理事会までに事務局へ連絡する。

②10月13日の理事会の件

10月13日12時半からの理事会(宮崎)について、基礎学会の会場から少し離れた別会場で現地+ハイブリッド開催となる。

③8月8日の理事会の件

都合のつかない理事が複数いる8月8日の理事会の日時を再検討し、現状でも定足数を満たすため予定変更はしないことになった。

以上

令和4年6月20日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 波呂浩孝

監事 小澤浩司

監事 播広谷勝三